

○「地域の現況・問題点を意見交換」

(京都府宮津市 宮津地区連絡会議)(平成30年度第1回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

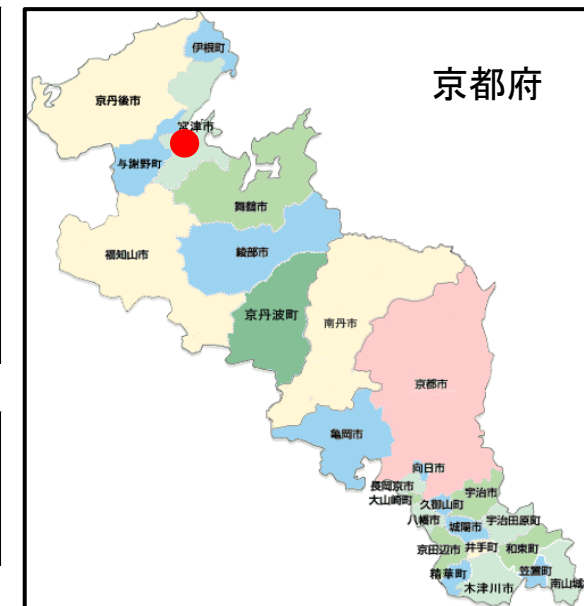
1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成30年6月6日(水) 18:00～21:30
- 場 所: 宮津市上宮津集会所
- 出席者: 関野委員、細見推進委員、大銅局長
委員2人、委員以外1人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

写真・図面
(地区連の写真又は
必要に応じた活動の写真や図面)

2 地区の特徴、状況、課題

- 山田(7区)、喜多(5区)、今福(2区)で構成される地域
- 大江山から市街地にかけての宮津市の中でも大きな面積と耕地に恵まれている 農家数106戸
- 水稻が中心で、ブドウ・採穂・コギクなどの栽培が行われている 耕地60.14ha



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 担い手不足の対策(作物の検討、農地集積・効率化、機械施設の費用軽減・生產品の販売、
後継者育成の方法、栽培研究)
- 耕作ができなくなると、次の耕作者をあきらめている
- オリーブ栽培の課題 成木までに5年が必要
- 現在、営農は個人が基本でやっているが、グループ化(共同化)の検討が必要
- 地域が広いので、各地区での話し合いが必要ではないか
- 喜多12地区(農家10戸)で7月中旬に話し合い活動の実施を予定 保全管理地50a存在

4 活動結果

- 情報・意見交換 3.5 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援